

Googleのサービスとは

「Google」といえば誰でも「検索」を思い浮かべるように、Googleは世界最大のインターネット検索サービスです。Googleは検索以外にも、GmailやGoogleマップ、Googleカレンダーなど、多彩なサービスを提供しています。

Googleは検索サービスだけではない

Google検索では、キーワードだけでなく、画像や音声で検索することもできます。また、電車の運行情報や目的地の天気予報なども検索可能です（第2章参照）。Googleが提供しているのは、検索サービスだけではありません。スマートフォンでも幅広く利用されているメールサービス「Gmail」や、ビデオ会議ができるコミュニケーションツール「Google Meet」（第3章参照）、行き先の場所を調べたり街のストリートビューを確認できる「Googleマップ」（第4章参照）、スケジュール管理ができる「Googleカレンダー」（第7章参照）など、さまざまなサービスがあります。オフィス向けのサービスとしては、Microsoft Officeと互換性のある「Googleドキュメント」「Googleスプレッドシート」「Googleスライド」や、各種のデータを保存できるオンラインストレージサービス「Googleドライブ」が利用できます（第8章参照）。また、写真や動画をオンラインストレージに保存して管理・編集ができる「Googleフォト」（第5章参照）や、世界最大の動画投稿サイト「YouTube」（第6章参照）も、Googleが提供するサービスの1つです。

● Gmail



● YouTube

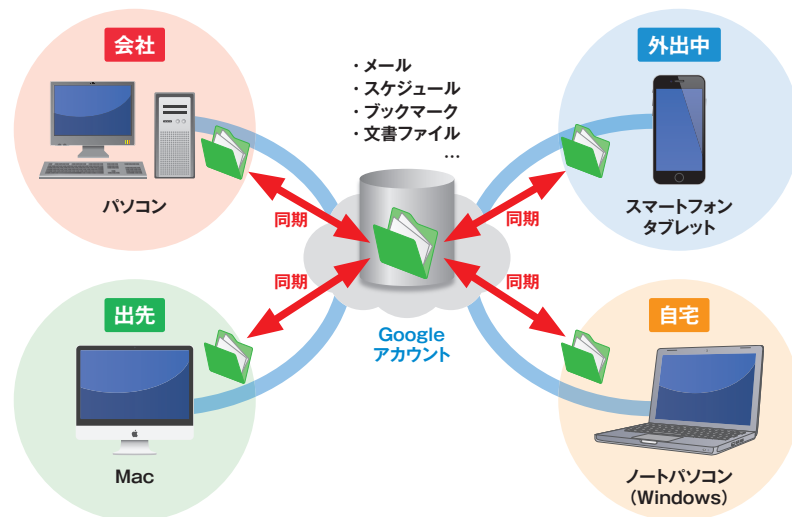


● Googleマップ



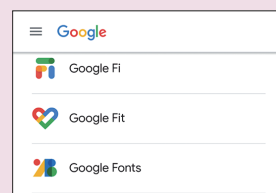
Googleアカウントを取得して便利に使う

Googleサービスをより便利に利用するために必要になるのが、Googleアカウントです。Googleアカウントは誰でも無料で取得することができます（Sec.004参照）。パソコンやスマートフォン、タブレットなど複数の端末から同じGoogleアカウントでログインすると、サービスを連携して利用したり、データを同期／共有したりすることが可能になります。たとえば、自宅のパソコンに保存したブックマークを会社のパソコンでも同じように利用したり、パソコンで管理しているカレンダーを外出先からスマートフォンで確認したり、書類を保管しているドライブに出張先からアクセスして閲覧したりと、時間や場所を選ばずに作業ができます。また、どの端末からデータを更新しても、更新したデータは常に最新データとして共有されます。なお、本書ではスマートフォン版のGoogleサービスの使い方を中心に解説します（画面は基本的にAndroidスマートフォン版です）。



Memo そのほかのGoogleサービス

P.16で紹介したサービス以外にも、Googleは数多くのサービスやアプリを提供しています。Googleのトップページ（<http://www.google.co.jp/>）で☰→[その他のソリューション]の順にタップすると、サービスの一覧が表示されます。



Web検索をする



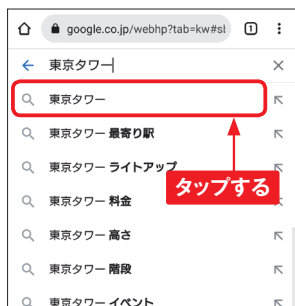
Googleのもっとも基本的な機能であるWeb検索を利用して、世界中のWebサイトから知りたい情報を調べてみましょう。Googleのトップページにアクセスし、検索ボックスに知りたいキーワードを入力するだけです。

キーワードで検索する

- ① Sec.005を参考にGoogleのトップページを開き、検索ボックスに検索したいキーワードを入力します。



- ② 入力途中で検索候補が表示されるので、結果を表示したい候補をタップします。



- ③ 検索結果が表示されます。表示したいWebページをタップします。



- ④ Webページが表示されます。



Memo Googleのトップページをブックマークする

Googleのトップページ (<https://www.google.co.jp/>) をあらかじめブックマーク (Sec.020参照) しておくと、検索がスムーズにできるようになり便利です。

複数のキーワードで検索する

● AND検索

- ① 検索ボックスに複数のキーワードを入力（キーワード間はスペースを入れる）し、をタップします。



- ② すべてのキーワードを含む検索結果が表示されます。



● OR検索

- ① キーワードとキーワードの間に半角大文字で「OR」と入力し（「OR」とキーワードの間にスペースを入れる）、をタップします。



- ② いずれかのキーワードを含む検索結果が表示されます。



Memo 効率よく検索するには

思うような検索結果が出ないときは、AND検索の要領でさらにキーワードを追加することで、検索効率が上がります。また、Sec.010の検索結果を絞り込む方法も参考にしてください。



Gmailとは



Googleサービスの中で、検索と並んで代表的なサービスがGmailです。Googleアカウントを登録すればアカウントがそのままGmailのメールアドレスになり、すぐにご利用することができます。まずは、Gmailの特徴について解説します。

Gmail 便利な機能を備えた大容量のメールサービス

Gmailは、世界中で利用されているGoogleのメールサービスです。無料で利用することができ、15GBと大容量のメールボックスを備えています。

メールの基本操作である送信や受信、転送はもちろん、重要なメールに目印を付ける「スター」、ジャンル別にメールを分類できる「ラベル」、条件を設定してメールを自動的に振り分ける「フィルタ」、読み終えたメールを非表示にする「アーカイブ」など、さまざまな機能を活用できます。1つの端末で複数のGmailアカウントを登録できるため、仕事用のメールアカウントとプライベート用のメールアカウントを登録して、用途に合わせてメールを使い分けることもできます。

なお、Gmailには迷惑メール対策機能が用意されており、受信したメールから迷惑メールを自動的に振り分けてくれるので安心です。また、Gmailはパソコンやタブレットからでも利用でき、いつでもどこでもメールをチェックすることができるので、ビジネスにもプライベートにも有効なコミュニケーションツールになります。



「スター」や「ラベル」を付けて、受信メールを整理することができます。



Gmail以外のメールアカウントをまとめて管理したり、メールを別のメールアカウントへ自動転送したりすることができます。

Gmailを起動する (Androidスマートフォン)

- ① ホーム画面で「Google」→「Gmail」の順にタップします。
- ② 「Gmail」アプリが起動し、受信トレイが表示されます。

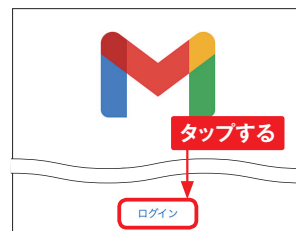


Gmailを起動する (iPhone)

- ① P.4～5を参考に「Gmail」アプリをインストールし、ホーム画面で「Gmail」をタップします。
- ③ Gmailを利用するアカウントを確認し、「完了」をタップします。



- ② 画面下部の「ログイン」をタップします。



- ④ 通知の確認画面で「許可」をタップすると、受信トレイが表示されます。



Section

039

Google Meetとは



Google Meetは、Googleが提供するビデオ会議サービスです。「Google Meet」アプリをインストールしなくても、「Gmail」アプリからビデオ会議を行うことができます。Googleアカウントを持っていれば誰でも会議に参加できます。

Googleのビデオ会議サービス

Google Meetはシンプルな画面が特徴のビデオ会議サービスです。複雑な操作もなく、ビデオ会議に必要な最低限の機能だけが備わっているため、ビデオ会議を円滑に進めることができます。パソコンやスマートフォン、タブレットなどで利用が可能です。

Google Meetにはスマートフォン向けの「Google Meet」アプリがありますが、アプリをインストールしなくても、「Gmail」アプリからビデオ会議を開催したり、参加したりすることができます。Google Meetを利用するには、Googleアカウントが必要です。ビデオ会議を行うだけであれば、無料のGoogleアカウントで問題ありません。



ビデオ会議には最大100名まで参加可能です。なお、無料版で開催する会議に招待された人は参加時にGoogleアカウントへのログインが求められます。



スマートフォンの画面を全参加者と共有することができます。打ち合わせの資料などを全員で確認しながら会議を進めることが可能です。

Section

040

Google Meetの画面構成



Google Meetでビデオ通話中の画面構成を見てみましょう。複雑な機能はなく、画面もシンプルな構成となっています。AndroidスマートフォンとiPhoneの画面構成に大きな違いはありません。

Google Meetの画面構成



名称	機能
① 情報	会議の参加者や会議コードが確認できます。
② カメラ切り替え	背面側カメラと前面側カメラを切り替えます。
③ 音声出力の切り替え	音声出力を「スピーカー」「電話」「音声オフ」(iPhoneの場合は「スピーカー」「レシーバー」)から選択できます。
④ 話者	話者が表示されます。また、タップした画面がここに表示されます。
⑤ 自分	自分の画面が表示されます。
⑥ 話者への設定	話者をミュートしたり、退出させたりできます。
⑦ 退出／カメラ／マイク	タップすると会議終了、カメラとマイクのオン／オフの切り替えの操作を行います。
⑧ 会議の設定	チャットや画面の共有を行います。

Googleマップの画面構成



Googleマップの画面では、画面全体に地図が表示され、周りに各種メニューのアイコンが配置されています。メニューのアイコンをタップすると、現在地を表示したり、目的地までの経路検索を行ったりすることができます。

Googleマップの画面構成



- 1 キーワードを入力して、目的地の地図を検索できます。
- 2 マップが表示されます。
- 3 経路を検索できます。
- 4 保存したリストを表示します。
- 5 地図の編集やクチコミの投稿ができます。
- 6 フォローしたユーザーや場所の情報を受け取れます。

- 7 プロフィールの編集や投稿したクチコミを管理できます。
- 8 訪れた場所や移動経路を確認できます。
- 9 現在地を共有できます。
- 10 ダウンロードした地図（オフラインマップ）の確認、経路検索ができます。
- 11 履歴やアクティビティを管理できます。

地図を表示する



Googleマップを利用すれば、自分の今いる場所の地図をかんたんに表示することができます。ここでは現在地の表示方法と、地図の拡大／縮小方法、表示位置を移動させる方法を解説します。

地図を操作する

- 1 「Googleマップ」アプリを起動すると地図が表示されます。（iPhoneでは📍をタップします。）



- 2 現在地が📍で表示されます。画面をピンチアウトします。



- 3 地図が拡大されます。ピンチインすると、縮小されます。画面を上下左右にスワイプします。



- 4 スワイプした方向に表示位置が移動します。



Section

070

スマートフォンの写真を
Googleフォトに保存する

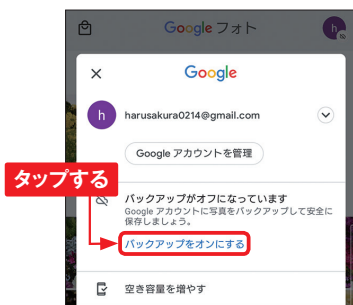
スマートフォンで撮影した写真や動画を、Googleフォトのオンラインストレージへ自動的にアップロードして保存することができます。アップロード設定を行うと、以後撮影した写真もすべて自動的にGoogleフォトに保存されます。

写真の自動バックアップを有効にする

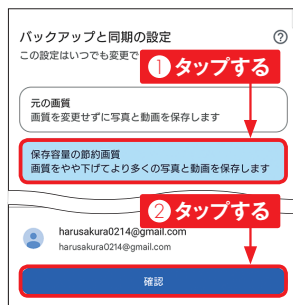
- ① 「フォト」画面を表示して、画面右上のアカウントアイコンをタップします。



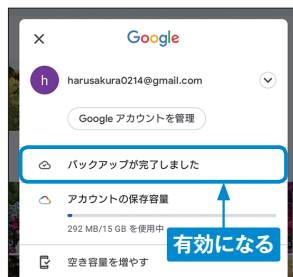
- ② 「バックアップをオンにする」をタップします。



- ③ 「保存容量の節約画質」をタップして、「確認」をタップします。



- ④ バックアップが有効になり、スマートフォン内の写真がGoogleフォトに保存され、以後撮影した写真も自動的に保存されます。



アップロードする写真の画質を変更する

- ① 「フォト」画面で画面右上のアカウントアイコンをタップし、「フォトの設定」をタップします。



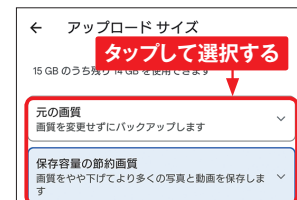
- ② 「バックアップと同期」をタップします。



- ③ 「アップロードサイズ」をタップします。



- ④ 「元の画質」もしくは「保存容量の節約画質」をタップして選択します。



Memo 画質の選択

手順④で「元の画質」をタップすると、写真の解像度を落とすことなくアップロードすることができます。ただし、どちらを選択してもアップロードできる枚数は、Googleドライブの容量の上限までなので、より多くの写真を保存したい場合は「保存容量の節約画質」を選択しましょう。

YouTube の画面構成

YouTubeでは、さまざまな方法で動画を検索したり管理したりできるので、画面に表示されているアイコンの機能を覚えて使いこなしましょう。ここでは、「ホーム」画面、検索結果画面、再生画面の構成を解説します。

YouTube の画面構成

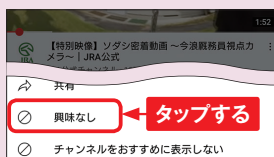
● 「ホーム」 画面



- 1 テレビなどのデバイスに接続できます。
- 2 新着動画などの通知が一覧表示されます。
- 3 検索ボックスが表示され、キーワード入力で動画を検索できます。
- 4 「チャンネル」「設定」「ヘルプとフィードバック」などのメニューが表示されます。
- 5 新着動画やおすすめ動画、人気コンテンツなどが表示されます。
- 6 最大60秒までのショート動画が再生されます。
- 7 動画を投稿できます。
- 8 登録したチャンネルの動画が一覧表示されます。
- 9 「履歴」「自分の動画」「後で見る」「再生リスト」などのメニューが表示されます。

Memo 「ホーム」 画面のおすすめコンテンツを削除する

「ホーム」画面には、過去に閲覧した動画の履歴などから判断した、おすすめの動画が表示されます。興味のない動画は、→「興味なし」の順にタップして、表示されないようにできます。この操作を行うことで、おすすめの精度が向上します。



● 検索結果画面



- 1 タップすると、前の画面に戻ります。
- 2 音声検索を利用できます（Androidスマートフォンのみ）。
- 3 「検索フィルタ」が表示され、フィルタを設定して検索結果を絞り込むことができます。
- 4 キーワードに関連する動画の一覧が表示されます。画面を上方向にスワイプすると、さらに動画が表示されます。

● 再生画面



- 1 再生画面がミニプレーヤー（Sec.089参照）で表示されます。
- 2 自動再生のオン／オフを切り替えられます。
- 3 関連動画などが表示されます。
- 4 画質や字幕、動画のループ再生などを設定できます。
- 5 再生を一時停止します。
- 6 全画面表示を切り替えます。
- 7 現在の再生位置が表示されます。左右にドラッグして、再生位置を調整できます。
- 8 動画に高評価／低評価を付けることができます。
- 9 動画を共有できます。
- 10 動画をダウンロードし、オフラインでも視聴できるよう設定できます。
- 11 動画を最大60秒切り取り、共有することができます。
- 12 チャンネル登録できます。
- 13 動画に追加されたコメントが表示されます。

※使用している機種や閲覧している動画によっては表示項目が異なる場合があります。

Section

096

予定を確認する



登録した予定を、スマートフォンから確認してみましょう。同じGoogleアカウントでログインしていれば、パソコンなどから登録した予定もスマートフォンから閲覧できます。予定の編集もかんたんに行うことができます。

G 予定を確認する

- ① カレンダーには、ほかの端末から登録された予定も表示されます。登録した予定をタップします。



- ② 予定の内容が表示されます。をタップします。

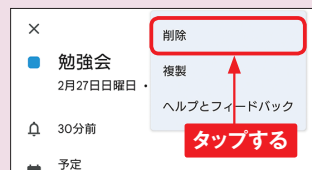


- ③ 予定の内容を編集することができます。



Memo 予定を削除する

予定を削除する場合は、手順②の画面で: (iPhoneでは...) → [削除] の順にタップします。



Section

097

カレンダーの表示形式を変更する



Googleカレンダーは、初期状態では「スケジュール」表示に設定されていますが、長期間の予定を見たい場合は「月」単位の表示に、そのほか確認したい状況によって「週」単位や「3日間」、「日」などの表示に切り替えることができます。

G カレンダーの表示形式を切り替える

- ① カレンダーを表示して、画面上部の月表示（ここでは[2月]）をタップします。



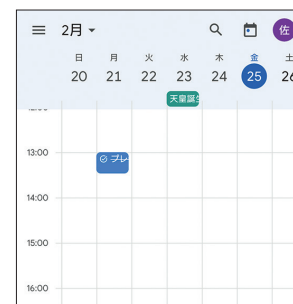
- ② スケジュールの上に、月のカレンダーが表示されます。



- ③ 手順①の画面で、画面左上の☰をタップしてメニューを表示し、表示したい形式（ここでは[週]）をタップします。



- ④ カレンダーが、「週」表示に切り替わります。



Googleドライブとは

Googleドライブは、Googleが提供する無料のオンラインストレージサービスです。文書ファイルや画像ファイルを保存できるほか、ファイルの新規作成や編集も可能です。Microsoft Office形式のファイルと互換性（一部制限あり）があります。

Googleドライブの特徴

● 大容量のオンラインストレージ

Googleドライブは、GmailやGoogleフォトとあわせて15GBまでのデータを無料でクラウド上に保存できる、オンラインストレージサービスです。写真や動画、文書などのファイルをアップロードして、パソコンやスマートフォンなどで管理できます。また、Office形式のファイルをアップロードして、Googleドキュメント（スプレッドシート、スライド）で閲覧／編集することができます。

● 複数人でファイル共有

Googleドライブでは、ファイルやフォルダをほかのユーザーと共有することもできます。共有するユーザーによって「閲覧者」「閲覧者（コメント可）」「編集者」というようにアクセス権限を設定でき、「編集者」のユーザーはファイルを編集することもできます。ファイルごとに誰と共有しているかわかり、共有メンバーの追加や削除も可能です。



保存したファイルは「ホーム」画面に表示され、フォルダを作成して管理することも可能です。

	A	B	C
1			家計のサマリー
2			
3		カテゴリ	予算
4		子供	¥140
5		海外活動	¥40
6		医療	
7		学校用品	
8		授業料	¥100
9			
10		娯楽	¥400
11		コンサート	¥50
12		読書	¥200
13		映画	¥50
14		音楽 (CD、ダウンロードなど)	¥50
15		スポーツイベント	¥0
16		ビデオ(DVD)購入	¥0

Office形式のファイルをアップロードしてオンラインで閲覧や編集、共有を行うことができます。

Googleドライブを起動する (Androidスマートフォン)

- ① ホーム画面で、[Google] → [ドライブ] の順にタップします。
- ② 「ドライブ」アプリが起動し、「ホーム」画面が表示されます。



Googleドライブを起動する (iPhone)

- ① P.4～5を参考に「Googleドライブ」アプリをインストールし、ホーム画面で「ドライブ」をタップします。
- ② 「ログイン」をタップすると、「ホーム」画面が表示されます。



Googleドキュメント・スプレッドシート・スライドとは

Googleドキュメント・スプレッドシート・スライドは、オンラインで文書ファイル・表計算ファイル・プレゼンテーションファイルの作成や編集などができるサービスです。Googleドライブと連携して、Officeファイルの閲覧・編集にも利用できます。

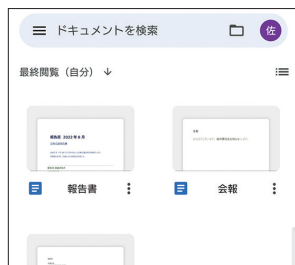
Googleドキュメントの特徴

● 便利な編集機能を備えた文書作成ツール

Googleドキュメントには、文書を作成するうえで便利な、多くの機能が搭載されています。編集ツールやスタイル設定ツールでテキストや段落の書式を設定したり、文字サイズや色の変更、フォントの指定を行ったりして、テキストを見やすく編集できます。また、表の作成や図形の挿入など、さまざまな方法で文書を作成することができます。

● さまざまなファイル形式に対応

Googleドキュメントは、WordをはじめOpenDocument、PDFなど、さまざまなファイル形式に対応しています。ファイルの読み込みと書き出しができるので、外部とのファイルのやり取りにストレスを感じることもないでしょう。また、Googleドキュメントで文書を作成すると、独自のGoogleドキュメント形式で自動的にGoogleドライブに保存されます。



「Googleドキュメント」アプリをインストールすれば、Googleドライブに保存されているWordファイルなどが表示されます。



書式の設定や画像の挿入なども可能。外出先からでもスマートフォンでかんたんに文書の閲覧や編集ができます。

Googleスプレッドシートの特徴

● Excelのように使える表計算ツール

Googleスプレッドシートは、文字や数値を入力して表を作成し、数式や関数での計算もできる、高性能な表計算ツールです。フィルタやピボットテーブルなどを使ってデータ分析することもできます。商品の売上管理や在庫管理のデータ分析、顧客リストの作成など、多彩な機能により業務を効率化することができます。

● グラフも作成可能

Googleスプレッドシートでは、作成した表をグラフにすることも可能です。棒グラフや円グラフをはじめ、さまざまな種類のグラフをかんたんに作成することができます。

● さまざまなファイル形式に対応

Googleスプレッドシートは、ExcelをはじめOpenDocument、PDFなど、さまざまなファイル形式に対応しています。ExcelファイルをアップロードしてWebブラウザ上で編集したり、再ダウンロードしてExcelで利用したりするなど、スムーズな変換が可能です。また、Googleドキュメントで作成したファイルは、独自のGoogleスプレッドシート形式で自動的にGoogleドライブに保存されます。



「Googleスプレッドシート」アプリをインストールすれば、Googleドライブに保存されているExcelファイルなどが表示されます。



関数の利用やグラフの表示も可能。外出先からでもスマートフォンでかんたんに表の閲覧や編集ができます。

Section

120

Google翻訳



Google翻訳は、100以上の言語に対応した翻訳アプリです。キーボード入力のほか、カメラで撮影したテキストや音声、手書きの文字を翻訳することができます。また、インターネットに接続できない場合でも翻訳することが可能です。

Google翻訳を利用する

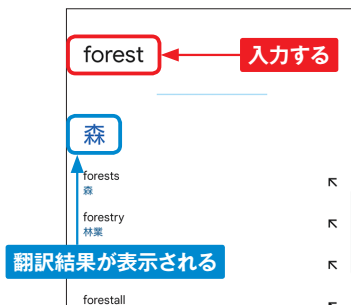
- ① 「Google翻訳」アプリをインストールして起動します。初回起動時はセットアップが表示されます。言語の左側がもとの言語、右側が翻訳する言語です。↔をタップすると、言語を入れ替えることができます。



- ② 言語をタップすると、もとの言語または翻訳する言語を変更できます。



- ③ テキストを入力すると、翻訳結果が表示されます。



- ④ 音声アイコンをタップすると、テキストが発音されます。

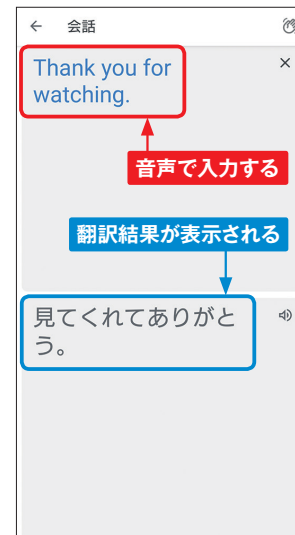


音声入力を翻訳する

- ① P.238手順①の画面で「会話」をタップします。許可画面が表示されたら、「アプリの使用時のみ」または「今回のみ」をタップします。



- ② 音声が入力されると、翻訳結果が表示されます。



Memo カメラで撮影して翻訳する

P.238手順①の画面で「カメラ」→「スキャン」の順に（iPhoneでは「カメラ入力」を）タップし、翻訳するテキストに画面を合わせて📷をタップすると、カメラで撮影したテキストを翻訳することができます。

